

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称…らぶらぶデイサービス（らぶらぶデイサービスセンター、第2らぶらぶデイサービスの2事業所合同）

サービス種類…地域密着型通所介護

会議開催日…令和5年11月14日

開催場所…介護デイサービスらぶらぶ

出席者

事業所	3人	利用者	1人
利用者家族	1人	地域代表者	2人
知見を有する者	1人	包括支援センター	1人

議事

1、所長より

- ・2019.10月からコロナの為、会議が遠のいていたが、4年ぶりの開催ができ嬉しく思う。
- ・コロナ、インフルと感染症に気を使いながらのサービスを行ってきた。
- ・感染症に振り回されてきたが、職員確保の難しさにも直面していた。介護予防デイを9月いっぱいまで休業し、3か所を2か所に統合してサービスを継続している。ご利用者には迷惑をかけているが、職員一同協力していきたいと思う。
- ・昨年は規模を縮小して収穫祭を行った。今年は感染症の他に、事業所再編による職員の負担も考え中止した。来年は開催できるように考えていきたい。

2、活動状況報告

- ① 資料を基に、両事業所の利用者数の推移、介護度、年齢等を示す。
- ② 資料を基に、行事、研修、苦情、ヒヤリハット・事故報告を行う。
- ③ らぶらぶ通信にて活動紹介。

3、意見交換

（包括）久しぶりの推進会議の開催ができ、良かった。

デイが一つ減ったのは残念。人気のあるデイなので、再開ができればと思う。事故報告で同じ方が何度も転倒されているのは何故か。対策している事も書いてあるといいのかな。努力している所が見える方がいいのでは。

（家族）雰囲気が変わったとは言っていない。いい気持ちで通っていると思う。

家庭でも起きる事故が起きているが、対応がきちんとされていて安心。

（地域）他の方の対応中に事故が起きているなら、職員はマンツーマンで対応しなくてはならないので、大変だと思う。

話し相手としてボランティアに行ければと思うが、行っていいのか。

(地域) 知人に、施設で作った作品を見せてもらった事がある。

事故が起きてしまうと、気を緩める事が出来ず、大変だと思った。職員がたくさんいないと目が届かず大変。

(有識者) 事業所の再編で、施設が変わったけど移って良かったとの声を利用者から聞いている。

コロナで施設がストップをかけると、家族は大変。その点、らぶは工夫をしながら継続しているので大変だと思うありがたい。

皆さん、高齢となり、認知の方も増えているので大変かと思う。

収穫祭でデイをPRできるといい。

(利用者) ファミリー農園の四季折々の野菜や果物をもたらえてありがたい。

わがままな利用者ばかりですが、これからもよろしくお願いします。

4、その他

- ・資料にて、災害時の避難先として公民館が示してあるが、やまだ電器への避難がいいのではないかと考えている。話しに行こうと考えている。

↓

まずは冬の事を考えていく方がいいのでは。

坂の上に家がある人が多いので、送迎が大変だと思う。

雪で長期休みになった際の対応として、訪問に切り替える事もありかと。

どういう形で事業継続していくのか。

- ・ボランティアの受け入れは、事業所での判断になっている。ケースバイケースで様子を見ながらと思っている。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○